

すこやか 11月号

第212号
月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



特集
FEATURE

脊椎疾患と脊椎手術について



整形外科 医長
堂垣 佳宏

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会脊椎脊髄病医

はじめに

脊椎疾患と一言と言っても、その内容は多岐にわたります。その中でも脊髄（頸髄・胸髄・腰髄）または馬尾・神経根など、いわゆる神経を圧迫する病変に対して病態を診断し、外科的治療を含めた治療方針を提案するのが脊椎外科の役割となります。

疾患

頻度の高いものとして、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、腰椎椎間板ヘルニアが多くを占めますが、中には外傷による脊椎骨折、腫瘍性疾患による神経症状、指定難病である後縦靭帯骨化症による頸髄症・胸髄症などもあります。共通する点として神経を圧迫して麻痺やしびれ・痛みなどが生じます。

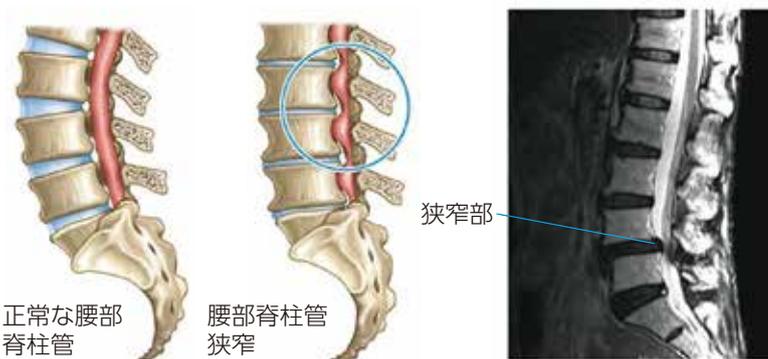
脊椎手術

脊椎疾患の治療の基本方針は保存治療（手術以外の方法で症状を緩和すること）です。しかし前述疾患のような神経に対する圧迫を解除することは手術でしか行うことはできません。保存治療の効果が乏しい例、明確な麻痺症状が生じている例では手術加療を考慮しなければなりません。手術の主目的は除圧（神経の圧迫を取ること）です。症例に応じてこれにインプラントを用いた固定術を追加します。

脊椎手術の1例として拡大開窓術を紹介いたします。腰部脊柱管狭窄症（図1）で、腰椎すべり症やレントゲン上の動的不安定性が術前に指摘されない例に対して行います。椎弓と黄色靭帯と呼ばれる脊椎の圧迫要因を切除することで、神経の除圧を行う手術です（図2）。

ダメージを受けた神経の細胞は除圧が十分できたからといって完全には再生しません。したがって術後には残存症状があることが多いです。術前に十分説明を受け、病態を理解し、手術の意義や治療の限界を納得できなければ手術は受けないほうがよいでしょう。残存症状があっても、強い神経痛や麻痺の進行を改善できれば脊椎手術は皆さんの生活の質の向上に寄与するものと考えています。

（図1）腰部脊柱管狭窄



（図2）●拡大開窓術

神経の圧迫にかかわる部分だけを窓をあけるように削り、除圧を行う。



周術期の口腔ケアについて

入院支援連携室 高橋 文代
手術看護認定看護師 平島 教子

周術期の適切な口腔ケアは、手術後の肺炎など合併症を予防し術後の経過・入院日数に影響を与えることが明らかになっています。口腔内には500種類・数千億個の細菌が生息しており普段の生活では問題ありませんが、術後の経過に様々な悪影響を及ぼします。そのため入院支援連携室と手術室ではそれぞれ下記のような取り組みを行っています。

入院支援連携室

手術が決まった患者様には口腔ケアのための歯科受診を勧めています。かかりつけの歯科がある患者さんは紹介窓口で予約をします。かかりつけの無い患者さんは近隣の歯科を紹介していますのでお気軽にご相談ください。

手術室

手術室看護師は手術前日に口腔内の観察と歯磨きを指導しています。全身麻酔の時歯の欠損や義歯が誤って気管に落下しないため、ぐらついた歯や義歯の確認、義歯を外した後の残歯の確認など問診を行い、歯科受診の情報を踏まえて口腔内の観察をしています。術前の問診では口腔内の状態を正確にお知らせください。

また、清潔にしておくことが大切です。それは全身麻酔時、挿管チューブと共に口の中の細菌が気管に入り肺炎になる可能性があるからです。手術当日朝の歯磨きはしっかりしておきましょう。



入院支援連携室



手術室

専門職紹介 認定看護師

・感染管理認定看護師

感染管理認定看護師 福井 淳宏

～病院全体の感染対策を担う感染管理認定看護師～

認定看護師とは、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者とされています。分野は21分野に分かれており、三田市民病院には皮膚排泄ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法看護、糖尿病看護、手術看護、救急看護、感染管理の7分野の認定看護師が在籍しています。その中でも今回は、病院全体の感染対策に従事している感染管理認定看護師についてご紹介したいと思います。

感染管理認定看護師

病院全体の感染対策を行うことが感染管理認定看護師の役割です。病院には様々な疾患の患者さんが来院します。その中には適切な感染対策を講じなければ他者に伝播させる可能性がある感染症の方もいます。その場合には、他者への感染伝播の危険性を最小限に減らすことが出来るように対策を行っています。感染対策は患者さんへの感染対策だけでなく多岐にわたり、職員が感染症に罹患しないためのワクチン接種や仕事上で血液や体液による曝露を受けた場合の検査など職員が感染症にかからないための対策を行うことも役割の一つです。

また、院内で感染症の拡大防止のための教育活動を実施しています。手洗い、手指消毒の実施、手袋やエプロンなどの防護具の適正使用など感染症を予防するための啓発、感染症の流行情報の組織全体への情報発信など病院全体での感染対策を行っています。または拡大した感染症の原因追究や拡大を終息させるため、多くの職種の方の協力を得ながら拡大防止対策を実施していくためのリーダーシップを発揮することも大きな役割です。

市の施設や他の医療施設から感染対策に対する相談を受け、他施設への感染対策への助言も行っており、今後も感染症対策を通じてこの地域のすべての患者さんが安心して治療を受けることができるよう活動を行っていきたいと思います。



感染管理認定看護師

Sanda-Shimin
Report 1

「ふれあい看護体験」を開催しました

看護課長 堂園 三弥子・酒井 弘美
リハビリテーション科 北島 宏和

「ふれあい看護体験」は看護の日・看護週間行事の一環として、看護師や理学療法士などの医療職に興味がある学生が、実際の業務体験を通して仕事への理解を深め、医療職へ進む動機付けとなるように開催しています。

今年も、看護部には16名、リハビリテーション科には11名の参加がありました。看護体験では足浴、シーツ交換、血圧測定、車椅子での移動、カンファレンスなどを体験しました。患者さんからは「ありがとう、次はいつ来るの?」と声をかけていただき、緊張していた表情に笑顔が見られました。実際に患者さんと触れ合うことで、より「看護師になりたい」という思いを強く感じることができたようです。

リハビリテーション科の体験では、理学療法、作業療法、言語療法についての説明や治療場面の見学を通し、「仕事のイメージが具体的になった。」「患者さんのことばを直接聞いてよかった。」「進路決定の参考になった。」などの感想がありました。

「ふれあい看護体験」を通して一人でも多くの学生が医療職を目指し、地元三田で活躍してもらえればと考えます。終了後の感想文から、この看護体験が看護師になる目標を後押しできたことを知り、本当にうれしく感じました。

今後も地域への貢献の一つとして、医療職の仕事を知っていただけるよう、この事業を開催していきたいと思ひます。



初めて
血圧測定を
しました



初めて
車椅子を体験
しました



初めて
患者さんの足浴
をしました

Sanda-Shimin
Report 2

さんだ生涯学習カレッジに当院医師が出講しました

当院では、市民向け講座などをおして病気予防や治療への理解が深まる情報を発信しています。令和元年8月、三田市主催の「三田生涯学習カレッジ 大学院 健康福祉コース」で循環器内科の榎尾和洋医長が「循環器内科の疾患について」と題して話しました。80名を超える受講者は、心臓疾患の専門的知見を動画・画像を駆使してわかりやすく提供する講義に熱心に聞き入っていました。



講義の様子

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



田中 秀憲

たなか ひでのり

- 診療科 消化器内科
- 専門分野 肝疾患、消化器疾患
- 資格 日本内科学会認定内科医 指導医／日本内科学会総合内科専門医／日本消化器病学会指導医・専門医／日本消化器内視鏡学会指導医・専門医／日本肝臓学会 認定肝臓専門医

Message

消化器科部長となり4年になります。市民のみなさまに最良の医療をとどけることをめざし総勢11名のスタッフで日々の診療に努めています。個人的には肝臓・胆道・膵臓疾患の診断治療を専門にしていますのでご相談ください。



多和 秀人

たわ ひでと

- 診療科 循環器内科
- 専門分野 循環器全般、心臓リハビリ
- 資格 日本内科学会認定内科医／日本循環器学会認定循環器専門医／日本内科学会指導医／日本内科学会認定総合内科専門医／日本心血管インターベンション治療学会認定医／日本心臓リハビリテーション学会指導士

Message

循環器疾患全般に対する診療を行っていますが、最近では患者さんの高齢化も進んできており、心臓リハビリテーションにも力をいれています。地域医療に貢献できるように努力して参りますのでよろしくお願い致します。

コメディカル 椅子から立ち上がる時の工夫

リハビリテーション科 北島 宏和

人が椅子から立ち上がる時1、座面の前にお尻を置き、2、足を引き、3、体を少し前に倒して4、前方へ立ち上がります。ほとんどの方が無意識で行っている動作です。しかし、脚の力が弱くなったり、長い間寝ていることが多くなった方はこの動作ができていないことが多いです。そのような方を介助するときこの4つの動作をしていただきながら介助すると介助量が少なくて済みます。また、介助される側もあまり力を使わずにすむので楽に立てます。



☞ 介助される方の状態によっては違うやり方がありますが、参考にさせていただきたいと思います。

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。
かかりつけ医を持ちましょう!

富田クリニック

院長：富田 政雄



JR相野駅近くで開業させて頂き、20年になります。消化器外科医・麻酔科医・救急医として勤務した経験を生かし、内科疾患から外科的処置、予防医学から在宅医療まで患者様のニーズに添った幅広い医療の提供に尽力致しております。20年来の開業で培った経験により精密な検査や高度な治療が必要と判断した方には、勤務経験のある三田市民病院を中心に適切な医療機関に紹介させて頂いております。

また、当院では肩こり・腰痛・交通事故後の疼痛等に対するリハビリテーション及び薬剤師が常在し院内で調剤を行っております。お身体のことでお困りの事がございましたら、些細な事でもお気軽にご相談して頂きたいと存じます。

所在地：〒669-1345 三田市下相野319-1
電話：079-560-7700
診察科目：胃腸科、外科、こう門科、リハビリテーション科
休診日：水曜(午後)、土曜(午後)、日曜、祝日
HP：「三田市 富田クリニック」で検索してください

診療時間	午前 9:00 ~ 12:00 ・ 午後 4:30 ~ 7:30					
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	×	○	○	×

新任 医師紹介

当院では10月より新しく医師を迎えました。より一層日々の診療に力を入れてまいります。



耳鼻いんこう科 医員
木戸上 知弘

きどがみ ともひろ

10月から赴任しました。耳・鼻・咽喉頭の良性から悪性まで幅広い疾患を扱っております。地域の皆様に貢献できるよう日々努力を心がけております。お気軽になんでもご相談ください。よろしく願いいたします。

出身地：兵庫県



皮膚科 医師
松浦 祥子

まつうら しょうこ

10月よりお世話になります。皮膚のトラブルがありましたら精一杯対応させていただきますので、お気軽にご相談ください。よろしくお願い致します。

出身地：兵庫県

編集後記

冬が近づくとつれ、寒さが厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？冬季はインフルエンザなどの感染症が流行する季節です。体調管理に気をつけ、手洗い・うがいを心がけるなど、感染予防を徹底しましょう。

すこやか(第212号)
令和元年11月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会

 **三田市民病院**

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>